

昨年の出前演奏に感謝

東通で児童田植え

収穫したコメ、出演者に



青い海と
森の
音楽祭

10/31-11/8

青い海と森の音楽祭の出演者の皆さんにおいしいお

米を食べてもらいたい。東通村の東通小学校の5年生が2日、村内で田植えを行った。昨年の音楽祭のアウトリーチ(出前演奏会)でクラシックの生演奏に触れた児童たちが、お礼の気持ちを込めて苗を植えた。田植えは、同校の総合的



音楽祭出演者においしいお米を届けたいと田植えに励んだ東通小の5年生たち

な学習の一環で毎年実施。児童たちが話し合い、収穫したコメを、指揮者の沖澤のどかさん(青森市出身)やソプラノ歌手の隠岐彩夏さん(五所川原市出身)ら今年の音楽祭の出演者に贈ることを同校として決めた。

同村目名地区で行った田植えには児童34人のほか、同村地域おこし協力隊員の二宮綾音さん(青森公立大学大学院1年)も加わった。水田を所有する山崎孝悦さん(65)が育てた「ほっかりん」の苗を手にした子どもたちは晴天の下、泥に足を取られて悪戦苦闘しながらも、山崎さんからのアドバイスを受けて等間隔に苗が並ぶよう丁寧に植えていった。

稲刈りは9月中旬の予定で、取れたコメは10月末に開幕する音楽祭公演の食事として出演者に振る舞う予定。田植えを楽しめたという山崎拓叶さんは「迫力ある演奏をしてくれた皆さんにおいしいお米を届けられたら。たくさん食べてほしい」と話した。

宮野康彦校長は「子どもたちは感謝とお礼の気持ちを込めて苗を植えていた。きっと良いコメができると思う」と語った。

(葛西憲悟)

無断での複製・転載・生成AI利用を禁じます。